

雲南省の概況 2022年

もくじ

- (1) 基本データ……………2
- (2) 経済概況……………3
- (3) その他情報……………10
- (4) 雲南省指導者の略歴 ……14



資料や写真などは主に「雲南統計年鑑 2022 年版」、
省政府ホームページから引用 <https://www.yn.gov.cn/yngk/>

(1) 基本データ

1. 雲南省について

データは基本的に 2021 年末現在

面積	39 万 4,100 km ² (全土の約 4.1%) うち少数民族自治区面積 27 万 6,700 km ² 山地面積は約 33.1 万 km ² (省面積の約 84%) 河川流域・水域は 60 万 4,000 ㎞ ²
人口	4,690 万人 (全国の約 3.3%) 都市人口 : 約 2,390 万人
行政区	地区級 16 (8 市 8 自治州) 、県級 129
書記	王寧
省長	王予波

<地理・気候>

雲南省は中国西南部にあり、省南部を北回帰線（北緯 23 度 26 分 22 秒、ハワイやメキシコ、エジプト、台湾、沖ノ鳥島～南硫黄島の間）が走る。面積は、39 万 4,100 km²。東は広西チワン族自治区と貴州省、北は四川省とチベット自治区、南ではラオスとミャンマー、ベトナム国境に接する。省都は昆明市。

西北のチベット高原から続く標高の高い地域であり、山地は省面積の 84%を占める。平野部となる盆地の面積はわずか 2.4 万 km² (省全体の 6%) しかなく、平均の海拔高度は 2,000 メートル前後である。急峻な山岳部も多くを占め、最高地点はシャングリアのモデルとされた梅里雪山の 6,740 メートル。チベットから連なるその山脈は 13 の主峰で構成し、中国最高峰の観光地として知られる麗江の玉龍雪山 5,546 メートルで、永久氷河もある。

河川は多く、流れは急峻。流域面積が 100 km²を超える河川は、省内に 1,002 ある。急こう配を利用した水力発電も多い。湖も多く、滇池（てんち）など山間部に現れる美しい湖面は観光資源としても活用されている。

気候は、基本的には亜熱帯高原モンスーン気候に属するが、山間部で区切られた地形と高低差により大きな地域差がある。省都の昆明市は温帯気候に属し、年間平均気温は 16.9 度、年間平均降水量は 1,020 ミリ。なお、省内では年間 2,000 ミリを超すエリアもある。

常住人口は 4,690 万人で、そのうち漢族が 3,157 万人で 67%を占める。少数民族は中国で最多の 26 を数え、その人口は 1,564 万人。100 万人を超える少数民族は、

6（彝族、哈尼族、白族、傣族、苗族、壮族）ある。

<歴史>

雲南省は古くは「云」、「滇」と記されてきた（自動車のナンバープレートは云）。「滇」とは、紀元前 1 世紀ごろに滇（テン）国の境目に属したことから名づけられている。類人猿（ゴリラ、チンパンジー等）の発祥地として知られ、170 万年前には最古の類人猿が生息していたと言われる。

古代には中国中原域の勢力に支配された時期もあったが、晋の時代には諸民族が分立することになった。唐の時代には再び支配下におかれて劍南道と呼ばれるが、さらにその後には独立国家である大理国(指導者はチベット系)が建てられた。大理国はモンゴル帝国のクビライ（第 5 代皇帝）に征服され、元～宋の時代には雲南行中書省、明代には雲南布政使司が置かれ、清代になると雲南省として行政府が整備され、漢民族が大挙して流入することになった。

近代になると、1929 年に国民党の蒋介石が龍雲(政治家)を雲南省政府主席に任命し、支配を確立した。第二次世界大戦時には、連合国が中華民国を支援する物資を運ぶための援蔣ルートをめぐり、日本軍と国民党軍が激戦を繰り広げている。

その後、1950 年に中華人民共和国雲南省人民政府が成立した。

<文化>

雲南省には 25 の少数民族が暮らし、それぞれに長年にわたり培った固有の文化を持っている。少数民族は以下の通り。

彝族（彝族）・・・省内に 400 万人以上いる最多の民族。

ジノー族（基諾族）・・・約 2 万人という少ない民族。プーアール茶などを栽培する

アチャン族（阿昌族）・・・最も古い土着民族の一つ。水かけ祭りで知られる

回族・・・食生活、服装や装飾、結婚や埋葬、祭りなどの習慣にイスラムの仕来りが色濃く残る。回族はタバコ、酒はたしなまない。

ジンポー族（景頗族）・・・標高 1500 メートル前後の山の中腹や山あいの小さな平地に暮らす。約千年前にチベット高原から移住してきた。

スイ族（水族）・・・貴州省のスイ族と出自は同じ。独自の言語と伝統的な文字を持つ。

タイ族（傣族）・・・南部の民族。水かけ祭りが有名で、全国から観光客が訪れる。民族料理も知られる。

チベット族（蔵族）・・・チベット自治区に多くは暮らす、雲南にも約 11 万人がいる。

シャングリラなど、北方の高原に集住する。標高3000～4000m 付近の居住地には冬虫夏草、靈芝が採れる。

チワン族（壮族）・・・中国全土で 1,500 万人以上いる最多の民族。雲南でも 100 万人が暮らし、民謡や踊りが有名。中国紙幣の裏には、チワン語も記されている。

満州族（満族）・・・北方の民族だが、雲南にも清朝期に移住してきた。

ミャオ族（苗族）・・・2000 年以上の歴史を持つ民族で、発祥の湖南省から明代に雲南にも移住した

ヤオ族（瑶族）・・・刺繡文化が知られる民族。

ラフ族（拉祜族）・・・ミャンマー、ベトナム、タイ、ラオスにも定住する山岳民族で狩猟生活を営む。

リス族（傈僳族）・・・中国建国の当時はまだ氏族制度を維持していたという民族。

ワ族（佤族）・・・住居や服飾品には古代から伝わる独特のデザインが今も受け継がれている。男女ともにタトゥーの風習がある。

プミ族（普米族）・・・チベット高原の遊牧民族の末裔で、13 世紀に雲南に来たという。

ブイ族（布依族）・・・木綿の衣服をまとい、紡織と刺繡を得意とした民族。

プーラン族（布朗族）・・・シーサンパンナの山地で暮らす民族。青と黒の服を好み、葉を染める人が多い。

デアン族（徳昂族）・・・お茶の耕作する古い農民、と言われる。タトゥー文化を持つ。

トールン族（独龍族）・・・雲南で最少の民族。社会秩序と協調を重んじ、自宅のドアも閉めないし、金品が落ちていても拾得しないという。

ナシ族（納西族）・・・1000 年前に創造した象形文字は世界に知られている。母系社会を受け継ぎ、女性の地位が男性より明らかに高い。

ヌー族（怒族）・・・リス族との長年の交流で、双方の言語を話す人が多い。現在でも求婚は楽器を演奏しながら行う。

ハニ族（哈尼族）・・・迫害を受けて雲南に逃れてきた歴史を持つ。世界遺産に認定された棚田を栽培する民族。

パー族（白族）・・・紀元前 2 世紀には興り、大理を中心に暮らしている。漢字も使うが、独自の言語も織り交ざる多彩な文化を持つ。

モンゴル族（蒙古族）・・・元初年（1271 年）に雲南に遠征に来たモンゴル軍がそのまま当地に残ったもの。

<行政区>

いわゆる地方級都市8市と、少数民族が暮らす8自治州がある。以下はその一覧。

全省行政区划设置情况统计表
(截止时间：2021年12月31日)

序号	州市	县级					乡级				
		合计	市辖区	县级市	县	自治县	合计	街道	镇	乡	民族乡
全省	16州市	129	17	18	65	29	1418	214	665	399	140
1	昆明市	14	7	1	3	3	139	81	42	12	4
2	曲靖市	9	3	1	5		137	46	51	32	8
3	玉溪市	9	2	1	3	3	76	25	25	16	10
4	保山市	5	1	1	3	0	76	8	34	24	10
5	昭通市	11	1	1	9	0	150	16	94	23	17
6	丽江市	5	1	0	2	2	66	10	24	17	15
7	普洱市	10	1	0	0	9	103	1	65	27	10
8	临沧市	8	1	0	4	3	77	2	32	30	13
9	楚雄彝族自治州	10	0	2	8	0	103	0	65	34	4
10	红河哈尼族彝族自治州	13	0	4	6	3	132	12	60	55	5
11	文山壮族苗族自治州	8	0	1	7	0	104	3	42	43	16
12	西双版纳傣族自治州	3	0	1	2	0	33	3	18	5	7
13	大理白族自治州	12	0	1	8	3	112	3	69	29	11
14	德宏傣族景颇族自治州	5	0	2	3	0	51	2	23	21	5
15	怒江傈僳族自治州	4	0	1	1	2	30	2	12	14	2
16	迪庆藏族自治州	3	0	1	1	1	29	0	9	17	3

2. 経済概況

項目	数値
域内総生産 GRP	2兆7,146億元（前年比+7.3%） うち第1次産業：3,870億元（前年比+8.4%） 第2次産業：9,589億元（前年比+6.1%） 第3次産業：1兆3,687億元（前年比+7.7%）
1人当たりGDP	5.77万元（前年比+10.98%）
平均可処分所得	都市部住民：40,905元（前年比+9.1%） 農村部住民：14,197元（前年比+10.6%）
実質外資利用額	8.88億ドル（+17%）
貨物取扱量	1兆8,294億トンキロ ¹ （+17.7%）
旅客輸送量	3億9,900万人キロ（+6.2%）
観光客	国内 6億4,893万人（+23%）
	海外 9万人（-84%）

投資環境に関する情報等は、雲南省投資促進局 <https://invest.yn.gov.cn/>も参照

<交通インフラ>

雲南省は中国の東南アジア、南アジアの玄関口であり、水運・陸運の要衝でもある。国境を接するミャンマー、ベトナム、ラオスとの国境検問所（出入国審査）は27カ所あり、国境貿易も盛んである。同省政府は、中国の進める一帯一路政策に関連する投資や、RCEP発効に伴うアジア地域との交流増加に期待を寄せている。

1) 港湾・海運

カンボジア、タイに繋がるメコン川を活用した水運は、遠くマレーシア、シンガポール、インド、バングラディシュまで続く。ランソンーメコン川や紅河（ホン川）などが主な水運河川として知られる。省内の登録輸送船舶隻数は、1,366。2021年の1年間では約2万9,000人の旅客、19万トンの物資を輸送した。なお、2013年には天然ガスや石油を運ぶ中国－ミャンマーパイプライン（滇緬油気管道）が全線開通している。

¹ 物流用語。トンキロとは、貨物の輸送量を表す単位のこと、貨物の重量（トン数）にそれぞれの貨物の輸送距離（キロメートル）を乗じて算出する。

2) 鉄道

隣接する各省およびミャンマーやラオスに繋がる鉄道網の整備が進んでいる。高速鉄道も走る主要な路線としては、四川省成都市と昆明市を結ぶ全長 1,100 キロの成昆鉄道、江西省・南寧市と昆明市の南昆鉄道、貴州省と昆明をつなぐ貴昆鉄道、上海市と昆明市を 2,200 キロ以上の高速鉄道のみで結んだ沪昆客專鉄道などがある。

2021 年の雲南省の鉄道貨物輸送量は 1,570 万トンで、そのうち金属鉱石が 90 万トンを占めている。今後も昆明市周辺の都市に 5 時間以内、省内全域の都市に 11 時間以内に到達することを目標に、鉄道建設が進む見込み。

3) 空港

雲南省には合わせて 15 の民間飛行場がある。そのうち国際線も離発着する大型空港は、2012 年に開港した昆明長水国際飛行場で、他には中型飛行場として麗江、シーサンパンナなどがある。

(新型コロナ前の) 2018 年には国際線 78 路線 (うち東南アジア・南アジアは 65 路線)、国内路線は 270 を数えた。2021 年の年間の旅客数は 986 万人でほとんどが国内の利用客、貨物も国内を中心に約 7.8 万トンを運んだ。

4) 高速道路

国境を越える国際道として代表的なものには、ミャンマーと中国を結ぶ第二次世界大戦中の援蒋ルートである滇緬 (国道 390 号線 昆明－瑞麗畹町・ミャンマー国境) 道路、中印道路 (史迪威※ステイウェル道、戦争中の米軍将軍の名前) や、昆明とタイ・バンコクを結ぶ昆曼高速公路がある。中越戦争 (1979 年) を経たベトナムとは、両国の国境であり交通のハブとなる紅河に、2009 年に双方で設計建造した中越紅河公路大橋が開通したことで、よりスムーズな往来が実現している。

省内の高速道路は、1996 年の昆明－崇明路線が開通したのを皮切りに、省都昆明を中心に各地方都市を結ぶ路線が整備され、2022 年には省内の高速道が 10,000 キロを超えている。山間部が多くを占めることから建設工事は難航し、整備が本格化したのは 21 世紀に入ってからである。主な道路としては、G5 京昆高速 (北京－昆明)、G0613 西麗高速 (シャングリラ－麗江)、G56 杭瑞高速公路 (貴州省－曲靖市)、G60 沪昆高速 (上海－昆明)、G80 廣昆高速 (広州－昆明) など。

なお、2021 年末現在、省内の民生用自動車の保有台数は 862 万輛 (三輪車や低

速貨物車 1.2 万輛を含む、対前年比 10.4%増) で、個人の乗用車は約 798 万輛、貨物自動車は約 373 万輛。貨物の輸送量は 14.4 億トンキロ (同 17.7%増)、旅客輸送人員は 2 億 2,700 万人 (同 12.7%増)、輸送距離は 399 億キロ (同 6.1%) である。

<資源>

雲南省は「有色金属王国」と呼ばれるほど、鉱物資源が豊富にある。これまでに確認された鉱物は 157 種類に上り、このうち 85 種類の埋蔵量が既に確認されている。このうち鉛や銅、錫など 31 種類は全国生産量の 3 位以内を占める。石炭は埋蔵が確認されたのが 363 億トン (うち可採量は 230 億トン) で全国 7 位。

エネルギー資源では、水力や太陽光、風力、地熱などの自然エネルギーが他省に比べて多い。水資源は貯水量、エネルギー変換量ともに全国 3 位で、金沙江・ランソン川・怒江の三大水系の現在の発電可能量は 0.9 億キロワットある。

天然温泉の源泉は全国 1 位となる 700 か所を確認し、平均水温は 25 度、湧水量は年間 3.6 億立米ある。年間の日照時間が 2,100~2,300 時間を超えることから、太陽光エネルギー発電量は 1 m²あたり年間 12 万から 13 万キロワットをほこる。

<自然>

雲南省は各地で気候や地質が異なることから、土壌にも様々種類があり、そこで育つ農作物も非常に多岐にわたっている。最も知られるのは、紅土と呼ばれる赤色の土で、そこに農作物を植えた棚田である「東川紅土地」は、非常に有名。

そのほか、植物王国とも言われる雲南では、熱帯や亜熱帯の植物が豊富にあり、特産品として南国のフルーツ類も見られる。確認できる高等植物は 19,300 種類以上あり、中には漢方薬の材料となる薬草が多数みられる。なお、森林は省内全土の 65%を覆っている。自然保護区は 166 で、そのうち国家級は 21 か所ある。

生息する動物も多彩。脊椎動物は 2,273 種類を確認し、そのうち鳥類 793、獣類 300、魚類 366、爬虫類 143、両生類 102 と、いずれも中国全土で確認できる動物の 4~6 割を占める。また、全国随一の昆虫の生息地で、これまで全国で確認された 2.5 万種のうち 1 万種は雲南省で見つかっている。

<農産品>

複雑な地形と気候は、農産品にも大きな特色を与えている。タバコの葉は 84 万トン、茶葉は 50 万トンをそれぞれ超えて中国 1 位である。珍しい産品としては、生花 (162 億

本)、薬草(73万トン)、食用キノコ(11.5万トン)など。そのほかにもバナナやパイナップルなどの果物、コーヒー豆などもある。

<工業>

2021年の雲南省の工業生産額は6,556億元(対前年比7.9%増)。そのうちハイエンド製造業が35%を占める。大型メーカーなどはなく、軽工業や資材製造が主体の産業構造ではあるが、豊富な水資源も活用した高付加価値の電子産業も立地している。

粗鋼生産額は約2,500万トン(同0.9%増)、セメント約1億1,400万トン(同12%減)、タバコ707万箱(同0.5%増)、砂糖類約250万トン(同5.7%減)、十種有色金属571万トン(同11.8%増)など。

<対外経済>

2021年の輸出入総額は486億ドル(対前年比24.4%増)で、そのうち輸出額は273億ドル(同23.5%増)、輸入額は213億ドル(同25.4%増)。対ASEANの輸出が192億ドル(同7.7%増)と多くを占めるが、対欧州も28億ドル(同49.2%増)で大きく伸びている。

同年の外資実際利用額は、8.88億ドル(同40%)であった。

<経済開発区など>

1) 国家級経済開発区

① 曲靖経済技術開発区

珠江の源流に位置する雲南省北東部の省第二の都市、曲靖市で、1992年に省級開発区として設立。2010年に国家級となった。管理面積は157km²(東京ドームのおよそ320個分)、工業園区と国際農業食品科技园から成る。恒大集団などが進出している。

ホームページは <https://www.qeda.gov.cn/>

② 蒙自経済技術開発区

省南部、南アジア諸国への玄関口にある紅河州の開発区で、2013年に設置。140km²のエリアでASEANに最も近い国家級開発区。最寄りの高速鉄道までは150キロ、港湾までは70キロ。ホームページは <https://mzjjjskfq.010b.com/>

③嵩明（楊林）経済技術開発区

省級の嵩明楊林工業園區を前身として 2014 年に設立。昆明市中心部まで約 35 キロの雲南省の工業地帯の中心地であり、国家級産業基地 1、省級産業基地 4 を内包する。自動車部品や包装印刷、農林加工品などが 231 社進出している。そのうち世界 500 強企業が 12 社あるという。

関連するホームページ <https://yn.zhaoshang.net/yuanqu/detail/10844>

④昆明経済開発区

1992 年に作られ、2000 年に国家級開発区となった雲南省で最も歴史のある開発区。省で唯一の国家級輸出加工区や高技術産業開発区などを持つ総合開発区である。昆明市の中心部から新区までを含めた 150 km²をエリアとして、光電子産業やバイオ、食品飲料、タバコ加工などの産業が集積している。中国西部地区の国家級開発区の中で、大 3 位を維持している。

2) 省級経済開発区

①大理経済技術開発区

1992 年に大理市の東に経済開発区として作られ、2000 年に省級の高技術産業開発区と認定された。計画面積は 116 km²で、バイオ製薬、緑色食品加工などをテーマとしている園区を持つ。

3. その他の情報

<日本の友好都市（姉妹都市）の締結>

	日本の自治体	中国の都市	締結年月日
1	神奈川県藤沢市	昆明市	1981 年
2	岐阜県高山市	麗江市	2002 年
3	徳島県美馬市	大理市	2010 年

<観光地・名所>

麗江古城

宋から元の時代に始まる 800 年以上前の街並みを現在まで残す麗江は、大研鎮とも呼ばれる。中国の歴史的な文化名城の中で、唯一城壁がなく、最も民族的な特色を備えた

古城である。平均標高が 2400m の麗江には、少数民族のナシ族が暮らす。

高原水郷とも呼ばれ、3 本の川が市内を貫き、建築物のほとんどが川沿いに建てられている。石畳のある川沿いの街並みは、風情と歴史を感じさせる中国屈指の観光スポットである。

元陽の棚田

雲南省南部の山間部では棚田が多いことで知られる。中でも元陽の棚田はその美しさで有名。少数民族のハニ族が山の斜面を耕して稲田を作り上げている。美しい棚田が天まで届くようかに見えるので「雲の梯」とも呼ばれる。また周辺にはきのこのような三角屋根が特徴のハニ族の家屋が点在している。

梅里雪山

長江（金沙江）、メコン川（瀾滄江）とサルウィン川（怒江）の三本の大河の上流部が交錯する地域にある霊峰で、標高 6,740 メートルの雲南省最高峰の雪山。ふもとの少数民族のチベット族などから神の山として崇められ、その急峻な山々からもたらされるカルスト地形は、世界遺産の白水台などの奇形も生み出した。

石林

昆明市の郊外にある石林風景区は、カルト地形が多く、石の柱が林立する不思議な地形を作り上げている。

<名物料理>

過橋米線

雲南省の代表的な料理で麺料理の一種。土鍋や陶器のお椀の中に、よく煮えたスープと油を入れ、米線と呼ばれる雲南省のライスヌードルと野菜やハムなどの食材を入れ、加熱して調理する。

少数民族の料理

雲南省の 25 の少数民族には、それぞれ特徴的な料理が伝わっている。中でもタイ族の料理は南方の温暖な気候の影響もあり、果実を食材とした料理もあり、人気である。写真右はパイナップルおこわ料理。そのほかの民族の伝統料理には、昆虫を多用したものなどもあり、昆明市など都市部の屋台などでも楽しめる。

(4) 指導者略歴

雲南省 書記 王寧 (おう・ねい)

1961年4月生まれ

遼寧省瀋陽市出身、漢民族

現職：雲南省省委員会書記

中国共産党 20 回中央委員会委員 1983 年入党

学歴：大学卒、高級エンジニア

1999－2002 年	建設部建築管理司（現建築市場管理司）助理巡視員
2002－2005 年	同部 建築市場管理司副司長
2005－2008 年	住宅都市建設部検査弁公室副主任
2008－2013 年	同部 人事司司長
2013－2015 年	同部 副部長、中央社会治安綜合治理委員会委員
2015－2017 年	福建省常務委員 組織部部長、省党校校長など
2017－2020 年	福建省常務委員 組織部部長、省党校校長、 福州市委員会書記、福州新区党工作委員会書記など
2020－2021 年	福建省委員会副書記、副省長、省長
2021－	雲南省委員会書記、省人代常務委員会党組書記

雲南省 省長 王予波 (おう・よは)

1963年1月生まれ

河南省南陽市（鎮平県）出身、漢民族

現職：雲南省省長、省委員会副書記

1984年入党

学歴：青海師範大学中文系中国語言文学専攻

中央党校研究生，副研究员

1979－1980 年	青海省果洛州大武中学教師
1980－1984 年	青海師範大学中文系中国語言文学専攻
1984－1989 年	青海省果洛州委員会党校教師、教科副科長など
1989－1995 年	青海省政府弁公庁四处主任科員、副処長ど

1995－2000年	青海省政府弁公庁社会二处处長
2000－2003年	青海省科学技術委員会副主任、副庁長など
2003－2007年	青海省政府副秘書長
2007－2008年	青海省政府副秘書長、弁公庁主任、党組副書記
2008－2012年	青海省教育厅庁長、党組書記、省委員会教育工作委員書記
2012－2015年	青海省西寧市委員副書記、市長
2015－2017年	青海省常務委員、秘書長
2017－2019年	青海省常務委員、秘書長、副省長、黄河（青海段）河長、 青海省行政学院院長、省赤十字会会長
2019－2020年	雲南省委副書記、省党校校長
2020－2021年	雲南省委副書記、省政府副省長
2021年1月－	現職